

3. 女瀬川

如是川ともいう。これは明治にできた新しい表記法で、旧来の表記法たる「女瀬川」の「女瀬（によぜ）」と同じ音である仏教用語の如是我聞の「如是」をとったものです。

現在の女瀬川の両堤の地には、平安時代には京都の「女院領」に属していた。

女瀬川が文献に見え始めたのは 1665 年頃です。

1967 年（昭和 42 年）7 月 10 日、集中豪雨により女瀬川の堤防が決壊し、川沿いにある高槻市立如是小学校の校舎が浸水した。

1970 年代、今後の高槻市北西部の住宅開発に備えた流量確保のため西国街道から名神高速道路付近まで直線のバイパス流路が作られた。

女瀬川天堂橋は、水位周知河川 基準水位観測所になっています。



4. 東五百住町の寺

1) 浄土真宗本願寺派 利井 常見寺

常見寺は、開基から 700 年以上経過している、浄土真宗本願寺派の古刹としても知られています。750 年の歴史を持つお寺です。親鸞聖人が高槻の地に念仏道場を建立し、顕如上人の頃に常見寺となりました。供養形態は一般墓です。



2) 浄土真宗本願寺派 善照寺

善照寺は大阪府高槻市に位置する浄土真宗本願寺派の寺院です。

約 520 年前の明応 4 年

(1495) に現在の地に開基。

現在の本堂は平成 13 年

(2001) に新築されました。



3) 浄土真宗本願寺派 明然寺

〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町 2-3-22